

大阪市廃止〓「都」構想〓百害あつて一利なし〓

「協定書」を委員会可決

市議会 共産・市民、自民は反対



質問する統一会派「共産・市民」の武議員〓
31日、大阪市議会

大阪市を廃止・分割する「大阪都」構想の制度案である「協定書」議案が31日、大阪

市議会の財政総務委員会会で、維新の会と公明党の賛成多数で可決されました。統一会派「日本共産党・市民」とつながる・くらしが第一大阪市民議団と自民党は反対しました。

委員会では、統一会派「共産・市民」の武直樹議員（無所属）が

質疑。コロナ禍による経済状況の悪化や税収減、支出増などが反映されていない「財政シミュレーション」について、「市民に大阪市を廃止する極めて重要な判断を迫るなら、相応の判断材料になるように作り直すべきだ」と要望。コロナ禍の中「正確な情報の開示と

住民参加の担保という究極の民主主義の根幹を無視して、そして、何より市民のくらしや命より優先して、「都」構想の）住民投票を急いでしてしまうことは理解できない」と強調し、反対しました。

維新の会は、協定書議案を3日の大阪市議会本会議で議決し、大

阪市を廃止して四つのことのは非を問う住民一日に実施しようとして「特別区」に分割する投票を大阪市で11月1日あります。